

2011 年度数学教育学会夏期研究会（関東エリア）について 第二次アナウンスメント

各位、

委員長：長岡 亮介 (明治大学理工学部)

副委員長：守屋 誠司 (玉川大学)

副委員長：佐藤 英二 (明治大学文学部)

顧問：森本 浩子 (明治大学理工学部)

すでに「第一次の御案内」でお知らせ致しましたように、表記研究会を、下記の要領で開催致します。プログラムの詳細は未定です。特に、研究発表に関して皆様の積極的なご参加を期待しております。

記

研究会主題:

「未来を拓く数学教師に元気と本気を！」
— 教員養成と教員研修の長期連携のための仕組みを考える —

日時・場所・参加会費

- 7/3 (日曜日) 10:00 -16:30
- 明治大学紫紺館
<http://www.meiji.ac.jp/koyuka/salsa/>



これは、お茶の水駅付近の「駿河台キャンパス」全体の地図で、紫紺館は右下に小さく表示されています。<http://local.google.com/> で「明治大学 紫紺館」を検索していただければさらに詳しい地図の他、交通案内も得られます。

- 会費: 一般参加: 2,000 円, 学生: 500 円 (予定※)

※ 注: 報告集を作成するかどうかで、会費の変更 (具体的には減額) があります。ご理解をお願い致します。

プログラム (概要)

午前中は主に研究発表 (応募総数により 15 分～30 分) を予定しています。午後は、主として、講演を計画しています。

現時点では、午前の部は、応募のあった

1. 10:00 -10:20: (故) 川村晃弘、長岡亮介 (明治大学理工): 「数学史と数学教育の自明でない関係」 (仮題)
2. 10:30-10:50: 谷田部 篤雄 (明治大学理工): 「学校教育の現場の苦悩 — 理想の実現を阻む‘理想’」 (仮題)
3. 11:00-11:20: 谷川 雅子 (西武文理中学高校): 「「進学校」における新たな教育の模索」 (仮題)
4. 11:30-11:50: 近藤 準一 (桐光学園中学高等学校): 「教育現場の現実とポテンシャル」 (仮題)
5. 12:00-12:20: 牧下 英世 (筑波大学附属駒場中学高校): 「生徒教育と教員教育」 (仮題)

を軸に計画中です。

午後の部は

1. 13:20-14:00: 佐藤 英二 (明治大学文学部): 「教員養成過程の諸問題」 (仮題)
2. 14:10-14:50: 横地 清 (前々数学教育学会会長): 「数学の初等中等教育の改造について」
3. 15:00-15:40: 藤田 宏 (前数学教育学会会長): 「遠くて近い? 数学と数学教育 — 予定調和から覚悟の止揚へ」
4. 15:50-16:30: 落合 卓四郎 (現数学教育学会会長): 「数学教育学会の社会的使命の実現に向けての一考察」

を予定しています。

今後時間割りの変更はありうるのでご注意ください。

研究発表を募集致します。研究発表のご応募は

rnagaoka@math.meiji.ac.jp

宛に 6 月 15 日までにご連絡ください。いただいたご要望に応えることができるかどうかは分かりませんが、必ずお返事は致します。emamil に対し、万一、返信がないときは何度でもお問い合わせください。

研究発表者、講演者は、配布資料、レジュメを学会の論文の標準形式で作製 (4 ページ以内)、発表の一週間前までにお送りくだされば当日配布の用意を致します。

プログラムについては Web 上で更新して参りますので、宜しくお願い致します。